

令和2年6月1日

学校再開にあたって

新潟東高等学校長

おはようございます。今朝、皆さんの声が校内に響き渡り、改めて学校っていいああと思っているところです。本日から学校が再開されましたが、まだ社会状況は厳しいものがあります。今一度、自分たちの行動を見直し、早期に通常の生活に戻れるよう、自覚を持った行動をしてほしいと思います。

さて、私から皆さんに話しておきたいことがいくつかありますので、よく聞いてください。新型コロナウイルス感染症予防のため今年度に入ってからおよそ2ヶ月余りの間臨時休校を余儀なくされていたことは皆さん承知のとおりです。その間、皆さんが打ち込んできた部活動の発表の場がなくなったりと精一杯日々取り組んできた生徒の皆さんにはなんと言葉をかけてよいか分かりませんが、今、大人たちは、皆さんが今までとことん取り組んできたか、そしてそんな自分があるかどうか、そうした自分に誇りをもてるかどうか、確認する場を作ってやりたいと奔走しています。そうした機会がもしも与えられたとしたならば、皆さん一人ひとりの目標に対して、自分はやりきったか、そしてやりきろうとしているか、を確認してほしいと思います。今部活動の話をしました。学校とて、いつも当たり前に行っていたことができなくなっている状況であることをきちんと受け入れ、ピンチをチャンスに変えるべく、考え方を転換してほしいと思っています。変えることは労力がいるますが、厭うことなく取り組んでほしいと思います。

まず第一に、定期考査の件です。5月に予定していた1学期中間考査は中止としました。それに加えて、今年度の定期考査は全て中止し、授業日とします。従来は、ある程度の範囲を年数回定期考査という形で実施してきましたが、これからは單元ごとにこまめに確認テスト等を授業時間帯の中で実施していくということになります。今まで、定期考査の際にだけ学習して何とかやりくりしていたのが通用しなくなります。また、1時間欠席するとそれだけ不利になります。ですから、今まで以上に地道に家庭学習を積んでいく姿勢が求められるということを肝に銘じておいてください。そして、課題の提出なども定期的に求められることとなりますので、付け焼き刃は通用しないことを今一度確認してください。

次に、6月と9月に予定している東光祭と昇陽祭についてです。東光祭は、9月17日(木)に時期をずらして実施する予定ですが、昇陽祭は、中止とします。東光祭の準備は、夏休みからしっかり行ってほしいと思います。今年度は、7連合で実施の予定にしていたかと思しますので、3年生は、計画的に準備を進めると同時に、本校の校歌をきちんと下級生が歌うことが出来るよう指導をお願いします。なお、東光祭に伴う準備期間、前日の予行は行いませんし、延期は翌18日までだということ、そして社会状況によっては中止という判断をせざるを得ないこともあることも承知しておいてください。昇陽祭は、三密を避け

る意味からも今年度は中止としました。昇陽祭を一つの発表の場と考えていた部活動の皆さんには、後日発表の場を設ける方向で今後検討していくことを承知ください。

また球技大会についても今年度は中止とし、授業日としますので承知ください。

次に、まだ詳細は決定していませんが、長期休業を1週間程度短縮し、授業日としますのでよろしくお願ひします。

また、2年生最大の行事である修学旅行についてです。今のところは、予定されている日程で実施することとしていますが、最終判断は、8月末に行うことを承知しておいてください。

そして、先生方には勤務時間があること、閉庁日といって学校が完全に閉鎖される日があることなども皆さんには知っておいてほしいと思います。

また、大きな変更等については、今話したとおりですが、今後の状況によっては再変更しなければならない場合もあることを皆さんには承知しておいてほしいと思います。

さらに、3年生は自分自身の進路について、1・2年生は、進路希望を踏まえた科目選択について、いずれも早々に考えを固めてもらわなくてははいけません。保護者と相談した上で、先生方との面談や三者面談に臨んでほしいと思いますので、分からないことがあれば担任の先生方や進路指導の先生方、部活動の先生方、どなたでもかまいませんので、相談してほしいと思います。自分自身の将来のことは、自分自身が自ら汗をかき、きちんと決定してほしいと思っていますので、よろしくお願ひします。また、今年度から掲示板を活用し、皆さんの責任で何でも行えるように指導していきましよう先生方と確認しました。SNSや他人を頼るのではなく、自分の足を使って様々な情報を取りに行つてほしいと思います。慢性的に遅刻をしてきている生徒についてはそれだけで、自分から情報を取る機会を放棄しているということになり、損をしているということ認識してほしいと思います。さらには臨時休校の間、オンラインゲームにはまり、昼夜逆転している生徒も皆さんの中にいることでしょう。早く生活リズムを元に戻してほしいと思います。

さて、皆さんは、「止まない雨はない」「明けない夜はない」ということわざを知っていますね。その意味は、「辛いこともいつかは終わり、幸せな時が訪れる」「悪い状態もいつかは終わりが来て良い状態となる」ということです。確かに、雨は2・3日振り続けば止んで晴れるし、夜になつても12時間後には朝が訪れ明るくなります。しかし、現在の新型コロナウイルスに対応しなければならない時期というのは、いつ終わるのかさっぱり分かりません。新型コロナウイルスは目に見えないだけに厄介です。止まない雨はないというけれど、これは自分自身が何もしなくてもただ待っていれば雨はいずれ止んでくれます。明けない夜はないというけれども、自分は何もしなくても勝手に暗くなって勝手に明るくな

ってくれます。つまり、この言葉が現すものは他力本願であり、自分の力で雨を止めているわけでも、自分の力で夜を終わらせているわけでもない。

それでは、今のこうした状況を踏まえ、私たちは、ただ待っているだけで良いのでしょうか？

実際、私たちは新型コロナウイルスに対して無力です。自分では何もしなくても特效薬がつくれ、今までどおりの楽しく明るい生活が訪れる日がいつかはくるでしょう。しかし、こうした時期だからこそ、自分自身の行動、努力で変えていく必要があることは自明だと思います。

緊急事態宣言が解除されてからというもの、町行く人々に少しずつ緊張感がなくなっていることは事実です。過剰な反応もいかなものかとは思いますが、私たち一人ひとりが自覚し、備えを怠らないことが大切だと思います。このことは、他力本願ではなく、自分自身、皆さん一人ひとりの努力で変えられることですから。

こうしたことは、新型コロナウイルス対応だけに限らず、人生の様々な場面においても言えることだと思います。宗教改革を成し遂げたマルチン・ルターは、「たとえ明日世界が滅びようとも、今日リンゴの木を植える」と言っています。希望を持ち、自らが明日に向かって「リンゴの木を植える」という努力をするということです。それぞれの目標がなくなって悲観している皆さんは、ぜひ、この言葉の意味を理解し、行動してほしいと思います。これからが皆さんの真価が問われる日々となることを今一度自覚してください。

さあ、今日から通常に近い形で学校が再開します。今週1週間は、9時はじまり、50分授業で行います。先ほど話しましたが、この間に早く普段の生活リズムを取り戻し、来週からの通常登校に備えてほしいと思います。なお、部活動については、6月8日（月）から活動できるようになりますが、その内容については段階的に行っていくこととなります。各顧問の先生方から今週中に説明があると思いますので、それに従ってください。

当たり前に戻る日常に感謝しつつ一人ひとりが自覚を持ち、いまだ新型コロナウイルス感染予防対策のさなかにあることを認識し、社会的責任を果たすべく行動をしてくれることを切にお願いします。

それでは、「がんばろう新潟東高校」